

商店街活性化事業計画の概要

地域

広島県福山市

認定日

平成26年10月31日

事業名: 福山らしさを発信する本通地域「とおり町ストリートガーデン計画」推進事業

事業者名: 福山本通商店街振興組合・福山本通船町商店街振興組合(広島県福山市)

事業実施期間 平成26年11月～平成31年8月

■商店街活性化事業の概要

アーケード改修、商業拠点施設整備及び空き店舗活用事業による商業空間の環境整備を行うことで回遊性を高めるとともに、コミュニティをテーマとした研修事業及びイベント事業を行い、地域の多様な担い手とともに街区全体のコミュニティ形成をはかる。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

・地域住民及び来街者ヒアリングアンケート調査等によると、老朽化したアーケードの改修、長時間滞在型カフェや子育て関連施設、趣味に関わる参加型施設へのニーズのほか、市民参加型イベント開催等の要望があった。

◆実施計画の主な内容

・アーケード改修事業

老朽化したアーケードを撤去し、新たな商業空間として整備する。

・商業拠点施設整備事業「多世代交流型複合施設 本通船町ビル開設事業」

育児と食育をテーマとした、まちなか図書館とコミュニティカフェが融合した施設を整備する。

・空き店舗活用事業「ぜっぴ3号店舗」開設事業 ※「ぜっぴ」は福山の方言で「絶対、必ず」という意味

古民家風空き店舗をリニューアルして若手創業者によるシェアショップとし、NPOを事業主体として3年間の段階的な事業として実施する。

・集客拠点地域整備促進事業「とおり町まちなか研究会研修事業」

商店街関係者、行政、関係団体、専門家等をメンバーとした、集客拠点となる地域整備事業につながるコミュニティをテーマとした研修事業を行う。

・周辺地域連携事業(事業完成・市制100周年記念イベント事業)

福山市制100周年と本通地域商店街活性化事業完成の祝賀としてイベントを開催する。

■商店街活性化事業計画の目標(定量的目標)

①空き店舗数: 平成26年度 15店舗 → 平成31年度 0店舗

②歩行者通行量: 平成26年度比 約1.6倍

(本通商店街 : 平成26年度平日 1,633人 → 平成31年度平日 2,627人

本通船町商店街: 平成26年度平日 1,986人 → 平成31年度平日 3,197人)

③売上: 平成26年度比 1.2倍 (平成26年度 162千万円 → 平成31年度 187千万円)

